

研究協力をお願い

昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院および昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

3D 画像解析システム（SYNSPSE VINCENT®）で測定した筋肉量と婦人科がんとの関係

1．研究の対象および研究対象期間

2018年1月1日から2023年12月31日までに昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院で、診断・治療をおこなった婦人科がんの患者さん

2．研究目的・方法

医療や社会環境の向上に伴い我が国の高齢化が進んでおり、高齢の方における健康年齢が注目されています。その一つに、骨格筋の筋肉量があります。筋肉量が一般の方よりも明らかに少ない状態をサルコペニアといい、この状態ががんの治癒に影響を及ぼすことがさまざまな研究から報告されています。しかし、婦人科のがんについては、まだこれらの報告が少ないです。

そこで私たちは、婦人科のがんの患者さんの治療にこのサルコペニアが影響しているのかを調べることにしました。過去のカルテ上の治療経過をもとに、がんの診断に使用した医療画像から筋肉量を測定して、筋肉量が少ないかを判断します。そして、筋肉量の少ない患者さんが、がんの手術の合併症が多くなったり、術後の回復が遅くなったりしていないか、化学療法や放射線治療の副作用がひどくなったりしていないか、再発する確率が高くないか、生命予後に影響がないかなどを調査します。そして、筋肉量が少ないことが、婦人科がんの治癒に直接的な影響していないかを検証し、筋肉量の少ない患者さんにとって、何が最適な治療なのかを見つける足がかりにしたいと思っていますので、ぜひご協力のほど、よろしく願いいたします。

3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026年 3月 31日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの背景因子（年齢、診断時の身長、体重、Performance status、診断名、病理組織診断名、病

期、転移部位、血液検査、治療開始日、治療方法（手術・化学療法・放射線治療）再発した日、転帰）、治療開始前の画像検査を用いた筋肉量の測定値。

5．外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、昭和大学病院および昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院（提供元）から昭和大学医学部産婦人科学講座（提供先）へ研究者のみがアクセスできるオンラインストレージを通じて送付されます。

6．研究組織

研究責任者 昭和大学医学部産婦人科学講座・講師 三村 貴志

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部産婦人科学講座

氏名： 三村 貴志

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 昭和大学 6号館 1階 産婦人科

電話番号：03-3784-8551 / FAX: 03 (3784) 8355 / e-mail: ob-gyn@med.showa-u.ac.jp